

< 町会より >

輪！話！和！で楽しく元気よく

大井北浜川東町会

当町会で輪投げクラブを始めてから5、6年になります。最近では女性のメンバーが増え、練習も一段と賑やかになっています。

輪投げというと『お祭りでの子どもの遊び』かまたは『高齢者のリハビリ運動』といった認識しかありませんでした。ところがいざ始めてみると、『たかが輪投げ！されど輪投げ！』であります。

5メートル先にある盤の9本のピン(棒)をめがけて輪を投げるのですが、これが中々難しいのです。投げる腕の力の入れ具合、手首や指先の角度、投げる方向や高さ、なによりメンタル面が大きく影響します。ですから大事な一投となる場合でも、あまり意識しないようにしています。

最近の練習では、真剣な中にもおしゃべりや笑いが絶えません。時にはスペイン交

響曲等のBGMが流れたりします。新人メンバーが高得点を出したり、一番得点の高い9番ピンに幾つもの輪が入ったりすると大拍手が起こります。

逆に一本も入らずに0点だったりすれば、揶揄されたり慰められたりもします。

これからも『輪！話！和！で楽しく元気よく！』をモットーに頑張ります。



輪投げの結果はいかが？

しながわ防災学校を受講して

大井海岸町会

7月30日(日)に品川区で開校した区民の防災学校を大井海岸町会会館で受講しました。

品川区の防災課から2名と防災コンサルティングの担当者2名がいらして、最初に震災のビデオを観て「備える」ことの大切さを話して下さいました。その後グループ分けをして提示された課題を参加した31名全員で取り組みました。特に勉強になったのが「避難所での対処法」でした。

避難所に次々と人が集まることが予想されるため、以下の7項目の対応について具体的な場面を想定して話し合いました。

1. 赤ちゃんと母親
2. 車いすの方
3. 車で来ている方

4. 外国人の方
5. ペットを連れて来ている方
6. 風邪が流行している時期
7. 在宅避難者への対応 など

皆がそれぞれに意見を出し合い、自分では考えていなかったことに気付かされ、参考になりました。皆様と率直な意見交換ができたのでとても勉強になりました。

これからも町会一丸となって防災に取り組んでいこうと思います。



町会会館で行われた防災学校の様子